



はしか感染拡大、今年の患者数が早くも100人超



はしかの感染が広がっていて、今年はじめからの患者の数が早くも100人を超えたことが分かりました。

はしかは感染力が非常に強く、空気感染などで広がり10日から12日の潜伏期間を経て、高熱や発疹などの症状が出ます。国立感染症研究所によりますと、今月9日までに報告された今年はじめからの患者数は114人と、関西空港で集団感染があった去年1年間の159人に迫る勢いです。

都道府県別では山形県が35人と最も多く、次いで、三重県の20人、東京都の13人などでした。山形県では2月にインドネシアから帰国した男性から自動車教習所などで感染が広がっていて、厚生労働省は「症状が出たら速やかに医療機関を受診することや、東南アジアなどへ旅行する人で予防接種を受けていないか不明な人は、ワクチンを打って欲しい」と呼びかけています。